

パブリックコメント手続の実施結果について

- ・案 件 名 「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針（案）」
- ・実 施 期 間 令和元年5月31日（金）から令和元年7月1日（月）まで
- ・担 当 課 伊東市教育委員会 教育総務課
- ・意見提出数 2人・4件

「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針（案）」に対していただいたご意見と市の考え方

No.	頁	意見内容	市の考え方
1	その他	計画では東小学校に、旭小、西小が統合される。学級数増、学童保育を考えると、現在西小に併設されている、東部特別支援伊東分校の配置は不可能である。 「共生教育」を推進していきたいようだが、特別支援学校には、肢体不自由だけでなく発達障害等の生徒もおり、又支援学校を選択した生徒も、しなかった生徒もいることを考えると、狭いスペースで「共生教育」を行う事は、今後伊東というコミュニティで「共生社会」を担うにはマイナス面も予想される。 市内では県立学校の再編も予定されているが、それに合わせ、特別支援の小・中・高の一貫校を伊東高校跡地に整備し、必要なら「東小」「南中」「新構想高校」と交流を行い、学齢期の支援が必要な子どもをのびのびとした環境で育てることが出来るよう県に要望すべきである。	基本方針（案）の策定に際しては、静岡県教育委員会の高校再編の担当部署や東部特別支援学校伊東分校の担当部署に対し、方針内容の説明をしているところです。 今後、方針として決定した場合には、東小学校、西小学校及び旭小学校の統合における東部特別支援学校伊東分校のあり方について、市と県とで協議を重ねていくこととなりますが、その際には、今回いただいたご意見も伝えながら、より良い学校のあり方を検討してまいりたいと考えております。

No.	頁	意見内容	市の考え方
2	18	廃校となった学校は、地域の防災拠点の観点からも整備を継続していくことが望ましい、また現在も社会体育の拠点として利用が多いことから廃校となった後も市民の利用が見込まれる。 また、伊東市の新たな産業として、廃校を利用した宿泊施設を整備しスポーツツーリズム事業として旭山を持つ旭小、川奈海岸に近い川奈小は十分に魅力があると思われる。宿泊業などとの競合も懸念されるが、子どもたちが合宿で訪れれば、保護者や応援の来訪も予想される。 また、市街地に近い西小に市民ホールを建設することにより、キネマ通りを通して西小に向けて賑わいが創出され、町の活性化に繋がると感じる。	市内の小・中学校は、「指定緊急避難場所」又は「指定避難所」に指定されており、地域の防災拠点となっているため、統合後においても避難場所（避難所）としての機能が維持されるよう本市防災部局と協議・検討してまいります。 スポーツ振興における体育館利用や跡地の有効活用については、地域の意見や他市町の先進事例等を参考に地域の活性化につながる活用方法を検討してまいります。

No.	頁	意見内容	市の考え方
3	15、 16	統合が難しい、対島地区、宇佐美地区は小中一貫校の整備が望ましい。 伊東高校城ヶ崎分校の跡地の払い下げを行い、富戸小・八幡野小・対島中の一貫校を整備すると良いと思う。 小学校の再編に伴い、小学校の学区の変更も必要であると感じる。門野中付近の旭小児童は東小に通うことが困難であるので、学区の見直しが必要だと思う。 また中学生が部活動でやりたい活動が制限されない為にも、学区を見直し、学校規模の適性化や他の中学校や団体と合同して練習できるスポーツクラブの設立が急務であると感じる。	対島地区、宇佐美地区における学校規模及び配置の適正化については、静岡県教育委員会が実施する高校再編の情報に注視しながら、後期の方針として具体的対応内容を策定してまいります。 また、統合に伴う通学に係る家庭負担軽減に努め、後期方針による中学校適正化についてもスポーツクラブ設立の実現可能性と併せて検討してまいります。

No.	頁	意見内容	市の考え方
4	18	現在の伊東市の現状（人口減少、雇用会社の減少、高齢者増加、観光資源活用不十分）を踏まえたブランド戦略、データ戦略、マーケティング戦略、施策実行を行う組織を作ること を推奨させていただきます。 まだ跡地活用については具体的な費用感、提携企業も決まっていないと思いますので、具体的な内容は温度感的にも決め兼ねますが、現状避けられない統廃合による空き校舎の増加は、地域資源として活用する価値が大いにありと考えています。 使用方法の例ですが、「IT企業の誘致、大人向け学びスペース・コミュニティスペース、宿泊地としての活用」など今後作成するビジョンに合わせた設計を行い、マーケティングをマス（大衆）向け、市外、海外からの観光客向けなどに行うことで、伊東市全体の魅力増進にも繋がると考えます。 決定すべきは「統合跡地活用に関する独自ビジョン」であり、それに付随して「ビジョンに合わせた戦略策定」「データ蓄積」「積極的な提携」等がでてくるのが分かりやすいということを現時点では、ご意見として提出させていただきます。	小・中学校の規模及び配置の適正化により統合された後の跡地については、本市としても重要な地域資源であると考えております。 具体的な活用方法については、地域の意見や他市町の先進事例等を参考に地域の活性化につながる方法を検討してまいります。